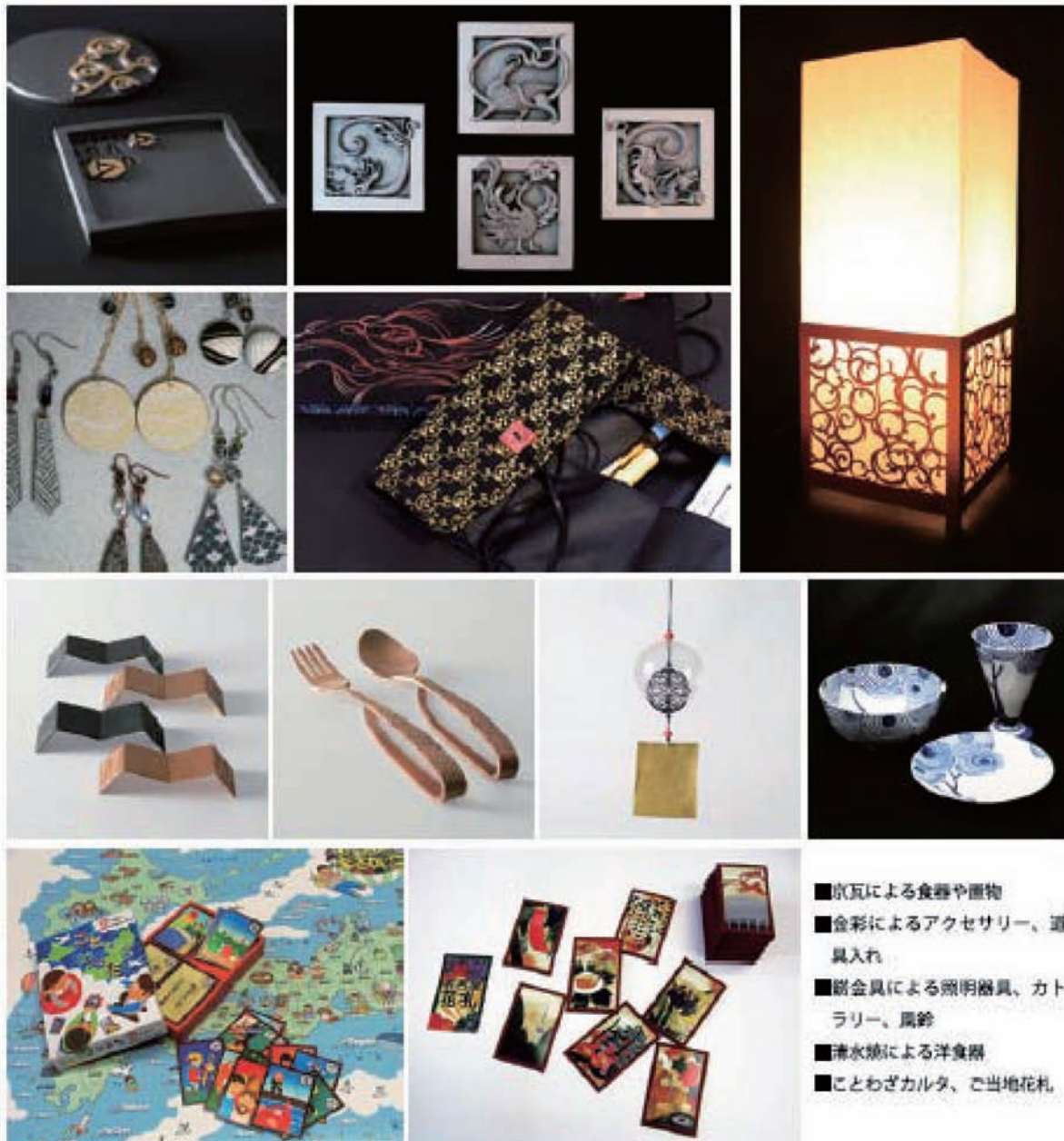


伝統工芸におけるデザイン

視覚デザインで商品開発



研究技術と実用の可能性

京都には優れた技術を受け継いで発展してきた素晴らしい伝統工芸が数多く存在し、どの工房でも、単に古いものだけを繰り返し作るのではなく、常に新しい試みを行いながら発展してきました。

その、過去に培われた伝統技術の「よさ」を生かしつつ、そして現代及び未来に向け新しい伝統工芸の素晴らしさを訴え残していく技術の積み重ねを図り、そこから生み出される作品を展示する展覧会を積極的に開催して、多くの方々の意見や反応を確認しながら、より良いデザインのあり方を検討しています。そして、今という時代に即した商品の研究開発を工房の方々と進めています。

特許関係・参考資料

「中野デザイン研究室編纂」 switch 伝統の虫1～5（継続中）

研究者

京都工芸繊維大学
大学院工芸科学研究科
デザイン学部門

准教授 中野 仁人

グラフィックデザイン

研究テーマ

グラフィックデザインにおける諧調表現について
伝統的イメージの引用に関する検討
タイポグラフィの視認性について
エディトリアルデザインの可能性について